

講演会・全体会午前の部

司会者 ただ今より、講演会並びに全体会午前の部を行いたいと思います。午前の部の司会を担当させていただきます、藍住中学校2年のfと藍住中学校2年のgです。よろしくお願いいたします。(拍手)



それでは早速パネルディスカッションに移りたいと思います。パネリストはhさん、iさん、jさん、kさん、コーディネーターは吉成正士さんです。どうぞよろしくお願いいたします。

吉成 おはようございます。この会がスタートして今年で23年目、今回で23回目になります。毎回毎回記録をしているんですけど、ちょうど会場の後ろ左にその時の報告書を置いてあるんですが、歴史を感じるなという気がします。23回目のこの会を始めていきたいと思います。

ここ数年ずっとこの形で、午前中は若者に登壇してもらって、いろんな話をしてもらいます。フロアともいろんなやりとりをしてもらいんですけど、今日来てもらった4人と出会ったのが9年前です。みんな同い年です。9年前に中学1年生で入学をしてきて、私が担任をしました。学年が同じだったと言った方がいいかな。2クラスあったんですけど、それが1クラスになって、1・2・3年と持ち上がり担任をしてきました。その3年間をこういう冊子(「2010年度マイ・スカイ」)

に当時まとめ、そのときの学年だよりとか人権だより等を載せてみました。今回4人に来てもらうにあたって、当時どうだったかと思いながら、9年、8年、7年前を思い出しながら見ていたわけです。今日は4人それぞれに、今いるところも違いますし、立場も違いますし、めざす方向も違いますし、それぞれの道を歩んでいるところなんですけど、21歳でしたかね?、21歳の今をそれぞれにお話ししてもらおうかなと思います。少なくとも皆さんと私との歳よりは、4人の方が皆さんにとっては近いはずですから、話も聞きやすいと思いますので、しっかり聞いてみてください。もしかしたら、思い当たることがたくさんあると思う人もおるかもしれませんし、参考になることもあるんじゃないかなと思います。今から10分ずつ話をしてもらいます。自己紹介も込みで10分ずつお話をしてもらいます。そうしたら40分たっているはずなんですけど、その後、20分間だけ5人でトークするのを聞いてもらいます。残りの時間、12時くらいまでになると思うんですけども、その時間をフロアの皆さんに感想を言ってもらったりとか、意見を言ってもらったりとかする時間にしていこうと思います。それがもしかすると、今日の午後の、お昼からの討議にもつながっていくのかなと思います。

kさんにトップバッターで話をしてもらいますが、その前に、この子たちは、3年間担任がほぼ一緒だったわけですよ。3年間ずっと私のもとで人権学習をしてきたわけです。非常に密度の濃い人権学習だったんじゃないのかなと思うわけです。その授業のなかで、こういう図を作りあげました。今見てもよくできてるなと思うんです。自画自賛なんですけど。例えば、なぜ差別が起きるのか。差別があるから、別な言い方をすると排除、のけ者にするっていうことなんですけど、そういうのがあるから貧しい状況が生まれて

いく。貧しい状況が生まれていくから、争いが生まれちゃう。争いが生まれるから、また新たな排除、のけ者ですね、差別が生まれちゃう。そういう関係性、これがどこから生まれてくるかっていうと、世の中には支配するような人たちがいて、支配されるような人たちがいて、けどそのお互いの関係のなかで、「悪い意味での縦社会」とか、「悪い意味での金儲け主義」みたいなものが起きてしまうから、こういう世の中になっちゃう。だけどそれをなくしていく、差別をなくしていくために何が必要なかっていうことを、当時の彼らに問いかけたときに、例えば知ってということが大事。「知性」が大事。それから「感性」も大事。それから「行動力」、行動するっていうことも大事だし、何を言っても「仲間」の存在が大事だになってというのが授業の中で出てきたわけです。今でもこれは私が大事



にしている図なんですけど、もしかすると4人の話の中には、そういうエキスが入っているかもしれませんので、そういう視点でお話を聞いてもらえたらと思います。kさん、もうそろそろ準備はできましたか。それでは一人目、kさんからのお話を聞いてもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。拍手をお願いします。

パネリスト k おはようございます。kです。私は今、香川県で看護師になるために勉強しています。私が人権問題を考え出したのは、先生が言ったように中学校1年生のときでした。正直今まで人権のことを考えたことはあ

んまりなかったし、初めてのことでいろいろ衝撃を受けたのも覚えています。やっぱり私にとっては、そこにいるんですけど、jさんの存在が一番大きくて、部落の話をするときにjさんが、「私は部落で、私の部落の気持ちは、部落じゃない人には絶対分らない」って泣きながら言ったことが衝撃的だったのを覚えています。私が中学校になって仲良くなったのが、jさんだったんですよ。だから正直そんなところでjさんが悩んでたとも思わなかったし、自分が考えもしないことで泣いてるっていうのが、私にとってはとてもつらかったです。それでどうしたら、もっとjさんに近づけるんだろうって思ったのを、人権の授業で思いました。だから私にとっての人権は、確かに周りのそういういろんな問題があるけど、やっぱり一番に思ったことは、jのために何かをしてあげたいって思ったのが根本でした。部落っていう大きな問題にjがたった一人で頑張っていくのは違うなって思ったのが、中学校1年生の私の一番大きな出来事だったと思うし、それがあったから私は、jと同じ対等な立場になりたいと思ったから、頑張って発言とかもしてたなって、今思えばしてました。うまく言えないんですけど、たぶんみんな、友達とかが悩んでたり、自分の大事な人が悩んでたら、自分もつらくなったり、苦しくなったりしません？私はそれが一番つらかった。そのとき一番、それをどうにかしようと思ったら、自分から行動していくと思うし、人権問題はほかの教科みたいに正解がないから、もしかしたらjが言ってることだけが正しいことじゃないと今になって思うし。いろんな見方があるから、悩み続けるのが答えなのかなって、今になって思います。私自身高校の時に、付き合ってた人がいたんですけど、その人が部落の人だって、お父さんとお母さんに、「付き合うのはいいけど結婚するのは駄目だよ」って言われて。あんだけjのことで悩んで、jと一緒に闘っ

ていこうって決めたのに、そのとき私はお父さんとお母さんには反抗はできなかった。じゃあ今できるかって言われたら、今お母さんガンになって闘病しててつらい状況で、そんな状況の中で、私が中学校の時みたいに熱い気持ちで、部落のこととお母さんと闘っていきけるかって言われたら、それは今はできないと思う。これ以上お母さんに負担をかけたくないしって思ったときに、何が悪いとか決めつけるっていうのは違うなって思ったし、いろいろなことが今も正解はないし葛藤^{かつどう}してきたけど、でもこうやって葛藤してきた自分からこそ分かる人の気持ちもあるんじゃないかなって、今になっては思っています。



私、去年1年間、長い看護の実習に行っていたんですけど、その実習の中で一人の患者さんと出会ったんですよ。その人は脳症って、脳の病気にかかってて、しゃべることも話すことも食べることも何にもできなくて、植物人間みたいな人だった。コミュニケーションもとれないし、私にとっては正直、「うわー」と思って。周りの子は患者さんといっぱい話したり楽しいことしよる中、私はただ黙々と何も会話もない中看護をしていくっていうのは苦しかった。その患者さん、自分で痰^{たん}を出すこともできないんですよ。痰を出すこともできなくて毎日気管吸引してる患者さんだったんですけど。マニュアルが決められてて、2時間ごとに気管吸引をするっていう。けどある日「かはっ」て吹いたんですよ、痰を。それもさっき痰をした1時間後に吹いて。でも決められてるのは2時間。でも本人は苦し

んでる。それを見たときに、自分はマニュアルとかその人の疾病しか見てなくて、その人本人を見てなかったんだっていうことに気づいたんですよ。そのときに、自分であれだけ人権の問題をして取り組んでたのに、結局は目の前の固定観念にとらわれてて、その人自身を見てなかったんだなってことに気づいたんです。それから、人間で聴覚だけは最後の最後まで聞こえるので、話しかけたり、手をさすってあげたり、些細^{ささい}なことなんですけど表情を見たり。そういうのを毎日毎日繰り返してたら、実習最終日に、もう今日でお別れですっていうあいさつをしたときに、今まで1回も反応をしたことがなかったんですけど、首をいやいやって横に振ってくれたんですよ。本人がどういう気持ちでしたんか分からんけど、それを見たときに、人間同士ってこういうことなんじゃないかなって。立場とか住んでる場所とか、見た目とかいろいろあるかもしれないけど、結局は本質を見ようとしてその人のために何かをしようと努力したら、まあ返ってこないこともあるかもしれないけど、相手のために心を寄せることが一番大事なんじゃないかなって思いました。たぶんこれから人権問題をみんなも考えていくうちに、いろいろな狭間^{はざま}に立つこともあると思うし、私自身も苦しかったこともいっぱいあったし、人権問題で親とけんかしたこともあったし、何が正解かも分からん中でおるけど、ちゃんと相手に心から関心を寄せて、自分自身と自分の大事な人がちょっとでも幸せになれるような選択肢が増えていくことが、人権を学んでて良かったことだなって思います。なんかうまく言えなくてすみません。以上です。

吉成 なんか一人目から「来たな」っていう感じがするんですけど。この会の始まりっていうのは、部落差別をどうやってなくしていくのかっていうのが23年前のスタートだった

んです。ただ、そこからいろんな人権課題が出てきました。家族のことであるとか、障がい者の問題であるとか、女性差別の問題であるとか、いろんな課題が出てきたわけです。そのそれぞれを考えていくことが、また部落差別を考えていくことにつながってきたような気がします。成長しましたねえ。このあとhくんやりにくくはないですか。がんばりますか。それじゃあ自己紹介からスタートして10分間しゃべってください。hくんです。拍手をお願いします。

パネリスト h おはようございます。ボクはhといいます。ボクは地元徳島で自動車の修理をしたりする仕事をして、今社会人です。ボクが人権に出会ったのは中学1年生の時に、クラスが吉成先生とは別だったんですけど、小学生時代から学習会にずっと通っていて、中学時代も部活と部活の合間に学習会に行っていたんですけど、そこで吉成先生に、初めて会った一番最初のときに、いきなり学習会の意味っていうか、これがどういうものなのかみたいなことをストレートに言われて、自分の立場を自覚して、それでそこが、ボクの人権の一番最初の出会いっていうか、まあだいぶ衝撃的だったんですけど。それから、自分



とは何だろうみたいなところから、この中学生集会だったり、道徳っていうか人権の勉強をやったりっていう形で、今も勉強してるっていうか、いろんな会に参加したりして吸収してるとこなんですけど。ボクはkさんみたいに誰かのためっていうんじゃないで、自分

が出身者であるんで、自分のためっていう形になるんですけど。障がい者の問題とかだったりも勉強してきたなかで、やっぱり自分が出身者であるっていうことで、部落差別を中心に勉強してきたっていうか、いろんな勉強してきた中でやっぱり自分がヒットしたのが部落差別だったんで、部落差別についてしゃべれないっていうか、結局障がい者の話についてしても、部落差別に返ってきてしまうんで、そんなに広いことは言えないかもしれないんですけど。部落差別について、差別はいけないとかは分かっているんですけど、実際に差別はあったりして。ボクはまだ直接的に差別を受けたりしたわけではないんですけど、やっぱり自分が出身者であるっていうことで、これから先、死ぬまでずっと向き合っていくかなくちゃいけない問題じゃないかっていうことで、中学時代に自分の立場を自覚したんで、中高と、この会に参加したりして、いろんな人の話を聞いたり、今舞台の上にいる仲間たちと勉強したり、絆を深めていったりとかして今の自分があるので。人権活動っていうのは、さっきkさんが言ったように答えがないんで、自分の答えだけが正しいっていうのではないんで、ずっと勉強っていうか、ずっと自分とは何かみたいなことを考えながら、今も社会人になってあまり人権学習とかもできてなくて、こういう会とかにもあまり参加しなくなってしまったんですけど。それでも今でも、自分とは何かみたいな答えを探してるっていうか、あがいてるっていうか、そんな感じなんですけど。

吉成 中学校時代は当たり前のように人権学習が毎週あったんですけど、今フロアの中学生も、そういう環境なのかもしれないけど、それが中学生でなくなって、例えば高校生になる、社会人になっていくっていうことは、全然それとふれあう機会がなくなるっていうことで。だけど、そうじゃなくて向き合おうとしてる

自分がいるということよね。

パネリスト h 中学時代は、確かに先生もすごく力入れてくれてたりしたんで、学習する機会っていうか、そういうのはすごく簡単にあったっていうか、よくあったりしてたんですけど。高校に行って、高校にも人権サークルっていうか、人権部みたいなものあって、ボクも所属しようかなみたいな、これからも人権について学んでいこうかなっていう意欲があって参加してみたんですけど。やっぱり何ていうか、温度差っていうか、知識の違いっていうか。ボクは例えば部落差別のことについてしかほとんど知らないっていうか、他についてはあまり勉強してないっていうか、勉強したんですけど、あまり身になってないっていうか、そういうふうになってたので、人権部に行ってもすごく苦しいだけっていうか、みんなと一緒に広島に行って原爆について学んだりとか、折り鶴折ってみたりとか、ハンセン病についてやったりとか、いろいろそういうのも中学時代にやったので、そういうのについても知識はあるんですけど。ボクがしたいのはやっぱり自分について、部落についてっていうものだったので、その部活には参加せずに、人権の先生には断りを入れて、一人で勝手に部落とかを中心に勉強を続けてっていうか、集会に参加してっていう形で、ずっと部落について追い求めたっていうか、そういう学生生活だったんですよ。皆さん中学生で、今はちゃんと道徳とかもあるかもしれないんですけど、高校とかになったら機会も減りますし、結構当たり障りのない内容だったりもするので、中学校を出てからも人権活動っていうか人権について学んでいく機会はすごく難しくなるんですけど、そこで自分がどういう意識を持ってっていうか、志を持ってっていうか、中学までで人権について考えるのを止めてしまうのかどうかっていうのが高校だったりするんで、これからも意

識高く人権について、皆さん頑張っしてほしいんですけど、高校になったらやっぱり一人で頑張っっていくいけないこともあるんで、今のうちに、舞台の上にボクには仲間がいるんですけど、一人で活動していくにしても、やっぱり今ここにいる仲間とのつながりっていうか、そういうのは大切に。やっぱり一人では偏ってしまうんですよ、意見が。やっぱり仲間と一緒にいることで、いろんな角度から物事が見えたりするし、一つの問題以外でも、部落の問題以外でも、いろんなことを吸収できるんで、やっぱ高校行くまでにそういう絆っていうのはすごく重要だと思うんで、今のうちにそういう、腹を割って話せる仲間っていうのを、頑張っつつくってください。



吉成 いいですか。二人にやっぱり共通して言えるのは、仲間の存在が今の自分をつくっているのかなっていう感じに聞き取れましたね。次に話をしてくれるjさんですけど、今朝帰ってきました。今朝徳島に帰ってきたところなんです。この会のためだけに。(朝4時に起きて来たんですから)朝一番の汽車に乗って帰ってきたということです。なぜそうなったのかとか、自己紹介や今の状況も含めて、昔のことを振り返ってみたりもしながら、お話をしてもらえますか。10分は短いかもしれませんが、jさんには。どうぞお願いします。

パネリスト j おはようございます。私は今吉成先生から紹介があったように、高知の大学に通っていて、kさんのことは私、kちゃ

んで呼んでるんですけど、kちゃんと同じ看護を学んでいます。ほんまは昨日帰ってくる予定だったんですけど、ちょうど今私は看護の実習に行っていて、それで担当してる患者さんが急変して、その関係でバタバタして、それで朝一番の汽車に乗ることになって、8時にこっちに着いてみたいな感じで帰ってきて。ほんとにバタバタの調子で帰ってきて。しかも言い訳で申し訳ないですけど、終わってから記録をなんとか仕上げから寝ようと思ってたんですけど、記録が終わらないし、気がついたら夜の12時になってるし、明日は朝4時起きやと思ったら、寝たら絶対遅刻すると思って、変に寝れなくて、だからオールで汽車の中で寝て来た状態なので。朝マック行ってコーヒー飲んできたんですけど、すごい頭ボーッとしてて。なので結構人の話とかも割とスルーするところもあるし、もしかしたらみんなからの質問も、どういうこと？みたいな感じで訊くかもしれないけど、それは悪気があってするわけじゃないので。申し訳ないですけど、それはちょっとご容赦願います。私結構おしゃべりなので、たぶんしゃべってしまうんですけど。



私は今、高知の大学で看護を学んで、今4年生で最後の学生生活に当たります。高知県とか知ってますかね？鰹とかお酒とか、いっぱい美味しいんです。今回人権集会のパネリストとして声をかけていただいてっていうきっかけは、私が5月に教育実習に地元へ一旦戻って、その際に教育実習で教師をめざす者として失格なんじゃないかなって思うん

ですけど、あまりにも生徒とコミュニケーションがとれなくて病んで、3週間。もうやってられへんて思って。kちゃんと吉成先生に招集をかけて、飲もうみたいな。話聞いてほしいですみたいな感じで飲みに行き、それでそのときにお話をいただいて。けど最初は、結構人見知りなので、あんまり人ともしゃべれないし、kちゃんが参加するのなら参加しますみたいな形で、それで参加しますみたいなことで、今ここに至ります。さっきkちゃん結構、私のこと良いふうに言ってくださったんですけど、kちゃんの方がすごい良い子なんです。その私の飲み会の誘いのためだけに、次の日にバイトあるのにわざわざ帰ってきてくれたんです、kちゃん。ほんと優しい子なんです、香川から。

すごい良い子で、そのkちゃんと仲良くなったのも意外で。私のところ(中学校)は、城ノ内みたいな試験はないですけど、狭すぎて幼小中一貫みたいな感じのところで。ずっと同じクラスの子がエスカレーター式で上がるような中学校、小中の応神学園というんですけど。何回聞いてもダサいなと思うんですけど(笑)。そういう学園で、そのつながりなんですけど。だから中学校から仲良くなるっていうのは、応神だったら珍しい方で、割と小学校から仲いい子が中学校でもそのままいくっていう感じなんですけど。小6と中1の時に2クラスに分かれて、あとはずっと1クラスだったんです。中1の時に、2クラスになったときに、kちゃんと一緒になって、それが縁で今に至ります。ほんとそのとき、仲いいグループの子が全部別のクラスに行っちゃって、「あ、話す子おらん」と思って、そのときにkちゃんがおって。kちゃんほんまは、そのとき苦手だったんです、それまでは。「kちゃんか…」と思って。小学校のとき休み時間話したけど全然盛り上がりなかった記憶があって、「もう、kちゃん…」と思ったんですけど、今ほんとに人生分かんもんで。皆

さんいろんな出会いがあると思うんですけど、いろんな出会いを今、大切にしてください。今、私がこうやって一緒におるっていうことが信じられないです。そのときから比べたら。

本題に戻りますね。人権学習で仲良くなったっていうのは、私が、「私の気持ちは私にしか分からない」というようなことを私が言ったんですよね。「あ、そんなこと言うたんや」って思ったんですけど。元々の私のルーツは、私の家は八百屋で、お店は部落にあるんです。八百屋の店は。けど住所自体は部落じゃないんです。けど、地方別対抗リレーとかありますか？地区に分かれてやるリレーとか、行事とかイベントは、その部落に属するところなんです。けど、私はその地区の子らと全くなじめなくて。ほれは毛嫌いとかじゃなくて性格が全然違っていたので、どうしても、人権集会でこんなこと言うのもあれですけど、合う合わないっていう問題で。全然性格も違うかったので、ずっと嫌でそれが。私はずっと、もう別の地域に行きたいっていう。仲いい子は他の地域にいるから、そこに行きたいってずっと思っていて。ある時お母さんに、小学校の時に、「私は何でこの地域なの？」みたいな。「私の住所は部落じゃない地域なのに、何で私はこの地域の行事に参加しなきゃいけないの？」って1回訊いたんです。ほの時にお母さんは、私がほの地域が部落っていうことに気づいたんやと思うんですね。それで、うちの父が部落出身だから、そういうのもある。私の父は、部落出身だったので、今の母と結婚する前に確か結婚差別を受けていたという話を私はその時聞きました。ほれを泣きながら話されるんですけど、いまいちピンとこずに。けど何となく、もうこの話は触れん方がいいやろうなっていうふうに思っ、よく分からんけど、そういう地区系の、自分の住んでいる話はせんこうと思っ、中1に入りました。中1で、部落って

いうことをはっきり認識して、「あ、こういうことやったのか」と。「あ、今まで母があんまり触れようとしてなかったり、泣いてたことはこういうことやったんやな」っていうことを、何となくそのときに認識しました。



私は、ちょっと気持ち悪いんですけど、お父さん大好きっ子なので、お父さんの話しますね。お父さんは産まれてすぐに、1週間後にお母さんを亡くしました。私にとってのお祖母ちゃんは、父を産むときに、もう多分長くは生きられないって言われて産んだそうです。それで父はそのままお母さんをすぐに亡くして成長していった。それで中1の時に、自分の父親を亡くします、病気で。だからもう中1の時には、もう両親がいない状態で、お祖母ちゃんに引き取られて育ったっていうふうに私は聞きました。そのなかで、きっとたぶん、大学に行く話もあったそうなんですけど、それもお祖母ちゃんがお金が出せないっていうことで、就職っていう形でして。それで地道にやってきたんですけど。多分その中でいっぱいいろんな挫折もあったでしょうし、中1で両親を亡くすっていうことが、どれだけつらかったかとか、大学にどれだけ行きたかったかとか、私には想像を絶します。もうそれは大変だったんだろうなっていう、こんな言葉でしか言えないですけど、すごい壮絶な人生を送ってきたんだろうなっていうことは思います。それでその中で本当に好きな人と出会って、けど結婚差別に遭って、結婚できなくてっていう過程を聞いて。たぶんそういう話を聞いていたので、友達が話をし

ていたときに、みんな「差別は駄目です」とかやっぱり言いますよね。当たり前やけど、「部落差別は良い」とか、そんなこと批判されるし絶対言わないじゃないですか。けど、たぶん友達が言った言葉が、私のそのときの癪かんに触ったんだと思います。「それはきれい事や」とか、「おまえほんまに思っとるか」みたいなことは言った記憶があります。「ほんまに思ってるの？」っていうので、泣いちゃったんでしょうね、そのときに。その泣いてしまったときに、kちゃんとか声かけてくれて、けどそうやって口論になった子とも今仲いいんですよ。ほんと人生分からんもんで。意外とだから、こういうふうに思ってるって、うわべだけのように聞こえても、その子はその子なりに真剣に考えてたのかもしれないし、そのときに口論した子の方が、意外と仲良かったりとかして。結構自分の悪いところも指摘してくれるし、向こうも結構言ってくれるっていうのは、本当に人生って分からんもんで。いまだに卒業しても、卒業したら皆さん、中学校の時なんか、ベスト・フレンド・フォー・エバーとか言ったりしますけど、意外と連絡とらないですからね、卒業したら。BFF(ベスト・フレンド・フォー・エバー)なんて全然、なんかもう信用できないですけど(笑)。ほんとに「会おう」とかいまだに言うんです。ていうのは、そういう縁はほんとに大切にしていけないとなっていくのは思ってた。だからほんとに中学校卒業して高校の時に会っても、会わない子なんていっぱいいるので。さっきも4人で朝マック行って、あの子何してるん？みたいな感じで、ほんとにそんなもんなんです。けどそんなかで続いていく友達っていうのは、ほんとに大事なもんやと思います。どこまで話しましたっけ。迷走しちゃった、どうしよう。じゃあ、中学校の時に経験した人権学習が今私にどうつながってるかっていったら。人権学習っていうのは、本音でその人とぶつかりますよね。ほ

んまに思っとんかとか、そんなのうわべだけじゃないかとか、分かるよっていうのに、「おまえほんまに分かってるん？」って議論になること結構多いと思うんです。けどそういう議論が私は大事なんじゃないかなって思っていて。そういう人権学習の方が、意外と自分の頭には残ってて。自分たちでつくりあげた人権学習は、自分の心の中にきっと残ります。私も残ってます、それは。



私は今看護学生なんですけど、人権学習で例えば今まで結構、私からしたら性格のちょっと荒い子が、ポロって泣いたりとか。私が印象に残ってるのは、自分の両親のことで悩んで泣いていた子がいて。あー、この子はこういうこと考えてたんやなっていうことをそのとき思ったんです。人は見た目で判断しちゃいけないですけど、その子の側面はいろいろあるんだなって思って、もっとその子を知りたいって私は思いました。そういう知りたいういう力が、看護学生なので患者さんを知ろうとする力につながると私は思います。患者さんが主張したことでも、その裏には何があるか分からないし、どういうふうにしてその人がほんとに考えてるか分からないし。それは傍かたわらにいて何とか知ろうとする力も大事だしって思います。けど、きっと全部を、その人の考えを受け止めることもできないし、苦しいって言われても、きつうまいこと言葉かけられないと思うんです。皆さんも。けど、かけられなくてもいいから、傍かたわらにいてうなずくだけでもいいし。なんとかしてその人のことを理解しようと、知ろうとする力に

私は今つながっているんじゃないかなと思います。終わります。

吉成 はい、突然終わったな(笑)。お父さんとは、教員生活今年で私30年目なんですけど、30年間すべてがイコールお父さんとのつながりの日々であり、時間なんです。だからすごく私自身もいろんなことを教えてもらったし、共に歩んできた同志という感じの存在です。私にとっては。だから、同志の子どもを担任としてみているような、何か変な感覚で過ごした3年間でしたね。お父さんの若い頃の夢は、教師になることやったんです。先生に本当はなりたかった。そんな思いが形を変えて、子どもに引き継がれているんかなっていう、そんな気がします。最後トリになりますけども、4人目、一番話しづらいポジションで、たぶん自分のペースで、3人の話を引き継いで、けどマイペースで話してくれるかと思えますけど、よろしくお願ひします。iくんです。拍手をお願いします。

パネリスト i ありがとうございます。iです。今、香川県の方で大学生をやっています。将来的には、格好良いんですけど、スポーツトレーナー、スポーツジムのインストラクターをやろうと思っています。ほんとに、この3人の話の後ってしゃべりづらいんですけど、何しゃべろうかな(笑)。



みんなどういう気持ちで来られたかっていうのがいっぱいあると思うんですけど、ボクがこの活動を初めてしようと思ったりとか

ていうのは、まず人権学習っていうのは、はじめて人権作文の発表会を学校でやったときに、その学年の代表になって発表したっていうのが、一つ自分の中で大きかったです。テーマとしてはいじめについての流れなので、さっきのみんなの話とはちょっと違うところにはなるんですけど。ボクは今21年生きてます。で、髪型、ボクすごく印象的なんですね。結構イメージ強くて、今でもバイト先で、あ、この髪型だからiくん、みたいな。結構それで覚えられることが大きくて。でもこれが、ボクは最初すごいいやでした。ていうのは、やっぱり何か人と違うとか。さらさらじゃないとか。そういうのがあったんで、やっぱりそれで最初、いじめの標的じゃないんですけど、なることがあって。そこがやっぱり自分のなかで大きかった経験で。でも今となっては、この髪型があったから人に覚えられたりだとか、ある種ボクの強みでもあるし、これから先いじることのない髪型っていう感じで、ボクはこれを特徴としてやってます。話を戻していきますけど、中学生集会、今みんなこうやって来ていると思います。どう来たかは知らないけど。ボクは吉成先生から、まあほぼ半強制的に連れてこられて、何ですかこの会はみたいな。サッカー部だから来てくださいみたいな。何だそれはみたいな感じで来ました。めっちゃ遠いのにチャリでどっか行ったりとか。何やねんみたいな。今となっては思い出になってますけど。でも、その1年目の時、本当に何も分からなくて、何をしゃべんよんやこの人らとか。何で泣いてるんやこの人らっていう感覚。で、初めてそこで違う中学校の先輩らと友達になったんですよ。今でも名前覚えてますけど。それが初めての経験で、そこからめっちゃしゃべってくれるんですよ、その人と。毎回なんかの会で、どっかの会場に行ったら階段ダッシュをして、どっちが速かったみたいな話をしたりとか、そういうめっちゃ意味分かん話しかし

ないんですけど。そこからすごくその人と話すようになって、この中学生集会っていうのが、最初は半強制的に来たかもしれないけど、自分から「行こう」、自分から「先生行きますよ」みたいな感じになった、そんなきっかけがありました。



部落差別についての話もしましょうか。ボクは出身者かどうかで言われたら、ボクは出身者でないことになるのかな。ていうことになるんですけど、初めて中学校の全体学習で、地元にもあるっていうのを知りました。そこが、たぶんボクの中でスイッチになったところでもあって。いやいやいやいやみたいな。そこから部落差別の話になって。じゃあそれで差別します、それでクラス分けられるんだったら、俺友達半分減るなとか、学年の半分減るのかなとか、変なこと考えながら、いやでも俺あの子ら好きやけどなとか。そんなかに一人hがおったりとか。そういうきっかけがあったりとかで、そこから始まって、その先輩と話すことが増えたりだとか、こういう集会に参加したりだとかっていうのが大きかったです。それで今、すごいなって思うのが、みんなこうやって聞いてくれてるのがほんとすごいなって思います。ていうのは、やっぱり中学校の時って何が何だか分からんし、今めっちゃ勉強したいってなってる子もいれば、いやーみたいな子もおると思うけど、高校になったら一気に減ります。この学習。ボクこれは先生に言いたいです。ほんとに一気に減ります。びっくりするぐらいに。人権の学習の時間でどう言ったらいいのかな。人

権の授業って言ったらいいのかな。人権の授業っていう括りが、ポンて、何曜日の何日にしますってなるんですけど、高校の場合はだいたいこれが勉強の時間に変わります。意味が分からないです。これボクが高校の時に体験した話ですけど。どこの高校とは言いませんけど。明日人権の授業しますって担任の先生が言いました。その後ボク呼び出しがかかったんですね。何でか知らないですけど。ボクこういう活動やってますっていうことは、その先生に伝えていたので、明日こういう内容でするんですけどっていうのを言われたんですね。進路指導室。ちょっと狭い部屋。先生と二人きり。何を言われるんかと思ったらそんな話です。意味が分からないですよ。いやいやいやいやみたいな。ボクはこういう活動やってきたので、先生はどういう授業したいんですか。俺はこういうふうにやりたい。じゃあそれでいいんじゃないですかっていう話なんですけど。でもなぜかボクに意見を聞いてきた。だからボクはこういうことをやってきたので、ボクはこういうスタンスでやってきたのでっていう話。言えば中学校の時に、中学校の時って、ほぼ先生しゃべりません。うちの先生。あとは、委員会の委員長だったかなが司会をして、資料を配られて、それを読んで、じゃあどう思ったかっていう活動。ボクすごい勉強になりました、あれ。先生がめっちゃ言うとか、そういうのもないし、それこそさっきjが言ってくれたように、本音でしゃべることができた会、授業でした。ボクすごい、あれ経験してなかったら今ここに座ってないと思います。いろんところで話が飛んでしまったんですけど、何が言いたいのかっていうと、今やってることっていうのが、感覚としてどんどんなくなっていくというのが実際です。なので、あんまり気づかなくなったりとか、これがいじめなんだとか、これが差別なんだとかがすぐに分からなくなります。今大学でボクも授業受けたりとかも

してるけど、そういえばこれがそうやなって、パツと思っちゃうときとかってあります。今うちの大学で言えばそれが多いかな。経験してないことなんで、やっぱり全然分からんことやと思うんやけど、でも俺県外の大学に行って、初めて徳島の子と会って、全然近い子でもなければ遠い子でもないんだけど、出身どこなん？みたいな話になって、俺は徳島市内やでっていう話から始まって、市内は分かってるけどどこ中学校なん？みたいな。俺応神やでって言ったときに、初めてその子の顔が曇ぐもったんですよ。で、何言われたのかと思ったら、えっ応神で怖いやんみたいな。怖いって言葉ボク初めて言われたんですよ。あーあーあーあー、俺の顔がとか、俺確かにいかついもんなみたいな。まあそのときはすごくいかつくて。オラオラでいたので。て感じだったんですけど、初めてそこで、応神で怖いよなって言われたんですよ。いやいやいやいやみたいな。ボクの中でそんなこともないし、今みたいに仲間でこうやってしゃべってるし。もっと言えば、出身の子で友達もいるし。いや、出身どうこうで区切るのも意味分からんし。友達やし、仲間やし、しゃべるし、遊びに行くし、家で泊まるしみたいな感じの子やのに、それを一概に会ったこともなければ、経験とか体験もしたことないのに、急に怖いって言葉で片づけられるのが、ボクはすごく嫌でした。そこから、俺やっぱり大学でも勉強しなきゃいけないなと思いました。ていうのは、これを言って最後にしようと思うんですけど。人権活動ってなくなったとか、何でするんて言われるんですけど、なくならないからするんじゃないかって、なくす努力ができないからやるとボクは思うんで。なくなってるんだったら、ボクここで講演してないし。それは別に先生の責任でもないし、受けるみんなの責任でもないし、それはそうなんやけど、ずっとみんなも言ってるけど、学び続けてほしいっていうのがボクの気持ち

です。いざそのときになったときに、自分がどうしたらいいんかとか、誰を頼ったらいいんかとか、そういうのが全然分からんことが起こってくるんで。やっぱり勉強してほしいなっていうのがあります。寝るのは別にいいです。好きじゃないから下向いてるのもいいし、メモをとらないのもいいです。でも、参加してみて何かを発見できたりとか、すぐ隣に座ってる子と仲良くなれたりとか、そういうのを大事にしてほしいとボクは思います。そこからしゃべれることが多いので。なので、しっかりと勉強してってください。勉強しないと始まらないんで。いや別に勉強するのが正しいとは言いません。けど、一人大学生が偉そうなこと言ってるというので、思ってもらえたらと思います。ていうぐらいで終わります。ありがとうございました。

吉成 はい、ありがとうございます。あのね、11時半なんですよ、今ね。20分ここでトークをしようという予定ではあったんですが、これは誰の責任という問題ではなくて、それぞれが責任を負えばいいだけの話なんです。フロアから感想をもらった方がいいのかなと。そのなかでやりとりをしていけた方が、みんなにとっても良いのかなっていう気がするんで、そこに移っていききたいと思うんですけども、司会のお二人さん、そこに移っていつけても構いませんかね。お願いします。



司会者 どうもありがとうございました。それでは残りの時間、感想や質問、意見交換を行

っていきたいと思います。マイク係として藍住中学校2年のlさん、大麻中学校2年のmさん、大麻中学校2年のnの三人がフロアをまわります。記録の関係上、発表者は団体名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくをお願いします。



松茂中学校 3年 o 先ほどjさんの話を聞いて、人権学習できれい事だけを言ってるみたいな話をされてたと思うんですけど、私は人権学習で議論とかをそんなに経験したことがないので、周りの人がどう思ってるかっていうのは全然わかんないんですけど。私の考えとしては、差別とかそういうのは、外国人とか部落とかで、どんな理由があってもやってはいけないことだと思うし、そう思うのは、もし自分がされる立場だったらいい気分ではないし、嫌だなんて思うので、差別は駄目なことだなと思いました。



内浦中学校 2年 p 質問でもいいんですか？皆さんに質問なんですけど。人権に関係があることで。今日本でいじめの対策っていったら、先生が生徒に注意するだけみたいなイメージがあって、そういうことがあるから、最近自殺をしてしまうとかいって中学生とか

高校生とかが死んでしまうっていうことが結構あると思うんですけど、そういう対策って私の中では、結構間違ってることだと思うんですけど、どのようなことをしたら、日本のいじめの対策ってもうちょっとこうしたらいいんじゃないかなって、皆さんはどう思いますか。

吉成 何年生かな？(中学校2年です)しっかりしてるなあ。質問来たので受けますか。日本の、先生が一方向的に「いじめ駄目よ」みたいなのは、私は違うんじゃないんかっていう話なんですけど、それぞれどうですか。しゃべれる人からいこうか。

パネリスト i そうですね、ボクはいじめを受けたことがあったので、別に先生が駄目って言うのが、うん難しいけど。駄目って言うのがいろいろあるかなと。どつく、どつくって言わんな。しばく、しばくも言わんな。殴るぐらいの駄目って言うのもあれば、可愛らしく駄目よって言うのもあると思うけど。そこは先生がどうしろって言うよりは、いじめられてる子にも友達がおったりとかおらんかったりとかいろいろあると思うし。ボクは、まだ中学生やから、たぶん友達のいじめられてる子も中学生だったりすると思うし。その子が変わって思うことを一番に気づいてあげるのが大事かなって思います。今日顔色悪いねとか、何かあったんとか。何かあったんという一言って結構大きいけん。ていうのは、一人暮らしやってるとすごく分かるので。でもほんとに、どしたん？とか訊いてあげるだけでも全然違います。だから先生に言えばなんとかなるというのはあると思うんですけど、先生に言ってなんとかしてもらうのも、方法の一つとしてはあると思うけど、やっぱりどしたん？とか訊いてあげるってことは大事かなと思います。

吉成 次行く？短いこう。多分他にも手挙げりそうやから。

パネリスト j これはある人から聞いたんですけど。いじている子といじめられている子を二人とも呼び出して、二人の話を聞いて、それでもしいじている子が「あいつがこういうことをやったから」っていうふうに言ったら、だけどそれでいじめっていう理由にはつながらないやろっていうことで怒るっていう話を聞きました。だから二人とも話を聞いて、いじている子の理由は聞くけど、いじめは駄目だっていうことは伝えるような。だからちょっとごめんなさい、答えになっているかどうか分からないですけど、それも案の一つではないかと思います。



パネリスト h iくんと似たようなことになるんですけど、ボクも小学校6年間のうち5年間いじめられてて、ほとんどいじめみたいな小学時代だったんですけど。けど先生に頼っても、何にも話にならないのですよ。先生が怒ったところで、その目の前はすいませんで終わって、また二日三日たったら、またいじめられるみたいな。永遠に終わらないんで、やっぱり先生に頼っても話にならないと思ってて、やっぱり友達の力が必要っていうか、さっきiくんが言ったみたいに、ちょっと声をかけてあげて、いじめられている子に助け船を出す。周りの人が必要なんじゃないかと思います。

パネリスト k 今までの人生を振り返ってみ

て、私、悪口は言われたことはあると思うけど、そういういじめを受けたことが、気づいてないだけであんまりないって思って。だからいじめられている人の気持ちが100パーセント分かるかって言われたら、正直私には分からないし、その分からない人がいじめられてる子に寄り添おうと思っても、きっとそこで、さっきjが言ってたみたいにきれい事っていうずれが生まれてくるんだろうなって思いました。けど、それでも寄り添っていける努力をしたって、私は思ってます。それぞれ解決策があるというか、何が正しいかは決められないけど、とりあえず私は目の前にいる人に寄り添って話を聞いてあげて、それができれば今は自分で満足かなって思います。

の開催



吉成 私も言っている？それまでしてなかった対話を、徹底的にやりちぎることとボクは思う。それまでできてなかった対話、議論、話し合い、語り合いを徹底的にやることかなって私は思います。他にはいませんか？

松茂中学校 3年 b 私も小学校の低学年の頃、こんな髪の毛の色だったんで、自分では分かってないんですけどいじめっぽいものをされてたのかな。自分ではいじめとは思わなかったし、向こうもいじめととは思ってなかったから、ずっとやってたのかなと思うけど。3年生か4年生ぐらいになって、低学年の頃に私をいじめていた子が謝ってきたので、そこで私いじめられてたのみたいな感じになったので、周りがあの子いじめられてる

のかなって思ったときは、周りの子が声をかけてあげればいいのかと、話を聞いて思いました。

吉成 きれい髪の色してるのにな。きれい髪の色してるよ。向こうのrさん。



城東高校 2年 r 去年の冬ぐらいに、4人グループで仲良くしとったんですけど、急にその4人中2人からめっちゃハブられてしまって。何やったか特に分らんやけど、めっちゃハブられて。ツイッターの会話のやつとか私のやつだけ全部消されとったりとかあったなって。ほなけどほんまにめっちゃ悲しくなったんですけど、残りのもう一人の子が仲良くっていうか、ハブられたにしても変わらんと私と接してくれとったので、ハブられたんはめっちゃ嫌だったんですけど、いじめられたり、ハブられたり、悪口言われたにしても、私は変わらんとずっと仲良くしてくれる子がおったら、私はいけたので、iさんとかが言よったように、いける?とか声かけてくれる子がいるだけでもすごい違うっておっしゃってて、ほんまやなって思って。あと吉成先生が、さっきそれが起こったら、対話を徹底するっておっしゃってたじゃないですか。ほれって、誰と誰が、いじめよった子といじめられよった子が、どういう対話をしたらいいんですか。それって間に先生とか入るんですか。

吉成 いじめが起きてから何かそういうことをするって問題じゃなくて、今中学生の集

会やから、例えば中学校のクラスで、学年で、規模が少ない時にはこういう会とかに出てきて、日常的に対話をする習慣をつけるっていうこと。何かが起こってからするんじゃなくて、中学生からするんでもなくて、できたらそれは小学生のうちから、そういう対話をするのが当たり前っていう。もちろん対話するにも得意・不得意があって、それは仕方ない話なんだけど、そういうことを日常的にやる習慣みたいなものが根づいていれば、何かが変わりそうな気がすごくする。けど今、rさんが言ってくれた状況っていうのは、rさんのお祖母ちゃんの言ってくれてたお話と一緒にだなっていうことを思った。そうでしょう?お祖母ちゃんの話はここでしか分からないことですけど(笑)。(ありがとうございました)

大麻中学校 2年 s ボクの家は今〇〇町にあって、去年の夏ぐらいまでは地元の中学校に通ってました。そこで夏休み前に先生にいじめられて。それを見た一部の子が、それを真似していじめてきて、精神的にもボクは限界だったので、精神科行って全部話して、今の大麻中学校に転校してきました。そのことを思い出したら、今でもちょっと悲しいので。それを精神科の先生に話して、今はちょっとだけスッキリしてる。もしもあなたたちがボクと同じことをされたら、どんなことを思っていましたか。



パネリスト i たぶん、先生もそうだと思うんだけど、どしたん?て言ってくれる子がおらんかったのも一つあると思うし、たぶんす

ごくしんどかったと思う。実際に今は中学校を変わってって話だけど、今はどう？大丈夫？友達おる？人づきあいてすごい意味が分からんところがあって、さっきグループでハブられてって話があったけど、俺も大学で、グループのラインがあったのに、俺ともう一人、二人ぐらいかな、外されて、もう1個同じグループができたっていうのがあって。まあ言ったら、ハブられたグループの悪口会ですよ。ボクもそういうのが1回あって、おいおいってなったんですけど。今受けてみて、やっぱり一つは悔しかった。今まで友達だったはずなのに、そうやって言ってくれなかった子がおる。言ってくれなかったとかいうのがやっぱりあると思う。今ちょっと変な言い方するけど、学校変わって、友達とかのメンバーも変わって、つきあいも変わってってなったときに、自分に今何ができていうのをちょっと考えてもいいのかなって。今の話を聞いた感じね。例えば今までだったら、どしたん？て言われたっていえば言い方ちゃうな。どしたん？ていう声がほしかったけど、今はどしたん？て言える立場っていうのはあると思うし。どしたん？て聞ける、そこからつながりってできていけると思うから。俺も最初それで始まったし。大丈夫？っていうのから始まって、今そいつと仲良くなって、急に俺の隣で住みだしたりとかもしたんやけど。それぐらいの関係っていうのは今からでもできていけるから。自分がこれからどしたん？て言えるような人になるっていうのもあるし、やっぱりそういう関わりができたなら、やっと初めてどしたん？て訊かれるんかもしれん。それはいろいろやり方あると思うけど。

吉成 今手を挙げたっていうのがすごいと思うのよ。手を挙げた、それで自分に起こったことをしゃべったっていう、そのことがすごいと思うのよ。その一歩を踏み出したっていう

ことが素晴らしいと思うな。同じ〇〇にルーツがある人間としては複雑な心境で、何かすごく申し訳ない気持ちもあったりするんやけど。けど、今いるところで、今あるところでしっかり頑張っってほしいなって気もするし。今何年生？(2年生)2年生、頑張ろうな、これからな。来年もおいでよ。時間あるので他にもあったらと思うんやけど、どうだろ。どどんマイクつないでいきましょう。



屋島中学校 3年 t さっきの講演会の感想で、自分は今まで障がい者とか、ハンセン病とかいじめとか、普通の学校の道徳の授業とか、普通のいつも通りの授業とかで学んできたんですけど、そこでそういう人権、差別とかをなくす人権学習とかを行う意味について考える機会が何回かあったんですけど。当時はあんまり深く答えについて考えきれなかったんですけど、今話されたiさんの言葉の、「なくす努力をしないから人権学習をするんだ」「人権学習について学び続けることが大切なんだ」って言葉にすごく共感して。なくす努力がないっていうか、できないっていうか、しにくいと思うんですけど、学び続けることでそれがなくす努力につながってほしいなって、自分は思います。

板野中学校 3年 u 自分の周りにいじめがないかって訊かれたら、ないと正直言えるのですよ。小学校の時は1クラスだけで、ずっと小1から小6まで全然いじめとかなくて、ただ個人でこの人は苦手やなとかはあったと思うんですけど、全然そういう感じじゃ

なくて。人権学習とかしよつても、いじめっ
てほんまにあるんとか思ってて。けど中学生
になって小学校の3校が集まって一緒になっ
て、今中3になったんですけど。クラスで一
人の女の子が、いじめみたいな感じでやられ
てるんですよ。直接ガーって言うわけじゃな
いけど、近くで聞こえるように、キモいんや
けどみたいなことを言ったりしよつて。言よ
う側と私は普通に仲良くて、けど言われよる
側は、そんなしよつちゅう話すみたいな感じ
じゃないし、いける？とかも結構^や勇氣いるし。
言よる側に、もう止めときだつて、軽い感じ
でしか言えなくて。やっぱ本気で言つたら、
こっちがまた言われるんじゃないかなと思っ
て。ほなけん言えるように勇氣を出すにはど
うしたらいいんかつていうのを、うまく言え
んですけど、そんな感じのを訊きたいかな
つて思いました。

パネリスト j 私のこれが答えになるか分か
らないけど、私だったらその子に伝えるんだ
ったら、その子のことがどれだけ好きか、私
はあなたのこういうところが好き、これから
もずっと仲良くしていきたい、でもつていう
ふう^にに伝えるかな。ほの人に対して自分がど
う思つてるか、どれだけ好きか、それと友達
としていたいけど、こういうところは止めて
ほしいつていうふう^にに言うかな。

吉成 めっちゃ言いづらあない？それつて。j
やつたら言えるか？

パネリスト j 言えないかもしれない。(え
ー)(笑)でも、その子と友達ではいたいつて
ことよね。(はい)

吉成 八方美人？あー私(j)も八方美人で、昔
そういや言つてたな。私(u)も八方美人？

板野中学校 3年 u 言つたら、そうかもし

れない。

吉成 八方美人で駄目なん？八方美人で駄目な
ん？ていう振りを、いつも授業でしてたのよ。
で、なんか妙にみんなが話をし始めるのよな。
この答え出す人はおらん？自分なりの。気持
ち実は焦つてて、もう12時来るから。で、
あと3本ぐらい手挙げつてたの知つてるから
焦つてるんだけど。また後でお話しするで？
この4人のところに寄つてきてください。(は
い、ありがとうございます)あと、手挙げて
くれてた子にも言つてもらいたいなと思っ
ただけど。

内浦中学校 1年 v 人権学習に正解がない
つて言われて、私そのときはピンとこなかつ
たけど、4人の方のお話を聞いてると、部落
のことで悩んでいたりとか、差別がまだある
とかそういうのを聞くと、自分一人で悩むと
か誰かが声をかけるとかつていうのは、その
人それぞれに考えがあるつていうことだか
ら、人権学習に正解がないと思つたし、人の
ために何かするとか、自分のために何かする
とか、そういうことで心を寄せるつていうの
が大切なんだなつてことが分かりました。



内浦中学校 2年 w kさんの話を聞いたと
きに、一人で頑張るのは違うつていうのがあ
つたと思っんですけど、ボクも4年間小学校
の頃にいじめられてて、何も言えなくて一人
で悩んでいたけど、ある日母とか友達に話
して、そこから友達とかがかばつてくれたり
かして、その関係が変わつたんで、一人だけ

で悩むんじゃないくて、誰でもいいから他の人に話すことっていうことが、またあらためて分かりました。

吉成 この一人で切ろうか。最後の一人にしようか。今マイクを手にする子以外で、手挙げたい人いる？もうお腹がすいた方が勝ってる？じゃあ彼女で最後にしよう。

土庄中学校 2年 x 私は友達から相談を受けたことがあるんですけど、そのときは話を聞くことしかできなくて、自分は友達の相談にもものれんような人なんやって自分で思ってたんですけど、jさんの話を聞いて、話を聞くだけでも相談に乗ったことになるんやなっていうことが分かりました。

吉成 たくさんの感想ありがとうございます。今も言ったように12時が来ています。最後になるんですけど、皆さんにとっての5年後、6年後、7年後の姿が今日の前にあると思ってもらいたいと思うんですよ。今話してくれた4人の中で共通するのは、歩き続けているってことなんやと思うんです。中学校は同じでも、卒業して高校は違うとか、高校卒業して違う場所にいる、違う進路を選択しているってことは当たり前にあることで、バラバラになっていくんだけど、だけどあのとき学んだことが生きて、今も自分なりのやり方ではあるんだけど、それでも自分なりに歩き続けていこうとするっていう、そのベースが中学校時代にあったっていうのであれば、それはそれですごく嬉しいことだと思って思います。今皆さんが作っているベースが、5年、6年、7年たったときの姿として、今ここにあるっていうふうに思ってもらえるといいかなって思います。以上長くなりましたけども、終わりにしたいと思いますので、司会者のお二人さんに振りたいと思います。

司会者 このあたりで全体会午前の部を終了させていただきます。最後にもう一度拍手をお願いします。(拍手)

さて、この後昼食・休憩となります。お弁当を注文された団体は、お弁当の引き替えを行いますので、代表の方は1階の受付へお越しください。なお基本的にお弁当は、この場所で食べてください。また後から来られて受付をされてない方も1階の受付へお越しください。まだ名札をつけてない方は、お名前が分からないので、この後、全体会場の後ろの席で作り、必ずつけておいてください。

それではお互いに交流し合いながら食事をし、お昼のひとときをお過ごしください。なお午後の部の開始時刻は13時です。遅れないように元の場所に集合してください。よろしくをお願いします。

